

2026年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）（春期）

民事法学・公法学専攻 英語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問題】以下の英文を和訳しなさい。

(Laura Savarese, "The Origins of Family Rights and Family Regulation: A Dual Legal History", Stanford Law Review, Volume 78. Issue 1, 2026, pp. 75-77.)

2026 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

政治学専攻（英 語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	------------	--

以下の英文を日本語に訳しなさい。

（出典：Paul Collier, *Wars, Guns, and Votes: Democracy in Dangerous Places*, HarperCollins Publishers, 2009, pp. 9-10.）

2026年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）（春期）

民事法学・公法学専攻 日本語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問題】以下の文章を読み、設問1及び設問2に答えなさい。解答は日本語で作成すること。

（出典）川崎政司「立法をめぐる政治と法の状況と課題——法部門による事前審査と事後審査の役割・あり方等を中心に」川崎政司・大沢秀介編『現代統治構造の動態と展望——法形成をめぐる政治と法』（尚学社、2016年）。出題に当たり、一部改変している。

〔設問1〕 筆者が本文中で用いている次の言葉の概念について、本文の文脈に即して、それぞれ答案用紙の解答欄5行以内で説明しなさい。

- ・「立法の品質」
- ・「最高裁の権威」
- ・「司法の国民的基盤」

〔設問2〕 「最高裁は政治的リスクに臆することなく、より積極的に憲法判断を行うべきである」という主張に対する、本文の論旨を踏まえた上での反論を考え、答案用紙の解答欄10行以内でまとめなさい。

2026年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）（春期）

民事法学・公法学専攻 スペイン語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

Elabore un resumen del texto, considerando la opinión manifestada por la autora y presente un argumento contrario.
Escriba su respuesta en japonés, inglés o español.

Extraído y adaptado de la monografía “Aspectos jurídicos del diseño de las interfaces digitales: En especial, los patrones oscuros” de María Natalia Mato Pacín. Madrid: AEBOE, 2024, págs. 128-134.